

事務事業名	視覚障害者福祉会活動支援事業 □ 実施計画事業	所属部局	保健福祉部	単位番号	5053							
		所属課室	福祉課	課長名	野呂瀬毅明							
基本政策	基本 IV 快適で心のかよいあう都市づくり	所属担当	障害者自立支援担当	担当者名	沢登俊輔							
		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細目			
政策 計 画 体 系	17 社会福祉の充実	01	一般	0	3	0	1	0	2	0	0	7
		事業区分	□ 国の制度による義務的事業	□ 施設等維持管理事業								
			□ 県の制度による義務的事業	□ 補助金交付事業								
施策	30 障害者福祉の充実	□ 市の制度による義務的事業	□ その他の事業									
		□ 義務化されている協議会等の負担金										
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) □ 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠	南アルプス市障害者福祉推進事業補助金交付要綱									
事業の内容 市内の視覚障害者の福祉増進及び社会参加の機会を増進する。 (補助対象団体の主な事業) 交流研修会、社会人学級、図書館朗読会、県外研修の開催	事業費の主な内訳 (22年度) 項目(細節) 金額(千円) 项目(細節) 金額(千円) 市単独補助金 81 計 81											

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動 22年度活動実績 23年度活動予定	補助金の交付 補助金の交付
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	南アルプス市視覚障害者福祉会の会員 会員の社会参加の促進
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	会員の社会参加の促進
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	障害者福祉の充実

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア:補助金の交付 回 イ: ウ:
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア:市視覚障害者福祉会の会員数 人 イ: ウ:
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア:交流研修会等年間事業開催数 回 イ: ウ:
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア:視覚障害者のうち会員数の割合 % イ:満足度調査(地域福祉計画) %

		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル 事業 費 内 訳 人 件 費 支 出 金 費 支 出 金 費 地 方 債 費 そ の 他 費 一 般 財 源 費 支 出 金 費 事 業 費 計 (A) 正 規 職 員 從 事 人 数 延 べ 業 務 時 間 人 件 費 計 (B) (A)+(B)	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	81	81	81	81	81	81	
	事業費計 (A)	千円	81	81	81	81	81	81	0
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	2	2	2	2	2	2	
	人件費計 (B)	千円	9	9	8	8	8	8	0
	(A)+(B)	千円	90	90	89	89	89	89	0
活動指標		ア回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
対象指標		ア人	18.0	18.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
成果指標		ア回	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
上位成果指標		ア%	10.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	
イ%									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前の各町村の要綱を統一し、合併時(平成15年4月1日)より開始している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	事務事業は合併前と変わらない。今後も変わらる要素はない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	日常生活用具の交付要綱を改正してもらい、視覚障害者にとって福祉の向上が図られた。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない」⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成15年の合併当初の補助金120千円から毎年補助金の見直しを行っている。 (H16:100千円、H17:90千円、H18~H20:86千円、H21~:81)
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	視覚障害者福祉社会活動支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 視覚障害者の社会参加に結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 活動費の補助のため民間ではできない。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 視覚障害者は、身体障害者の中でも社会参加が難しく、このような会への助成は妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 各事業への参加者の割合は高い水準にある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 障害特性により事業内容が異なり、統合が難しい。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 休止・廃止できない 小規模の団体であり、市の補助金が廃止となると会の運営も厳しくなり、視覚障害者の社会参加の機会が減る。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 年間運営費の8割は会員の会費負担で運営しており、これ以上の削減は難しい。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 人件費は補助金の交付等にかかるもののみで削減の余地はない。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 視覚障害者のうち会に未加入の障害者の加入促進をする必要がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	視覚障害者の社会参加への手助けとして必要な事業であるが、会員数が20名と小規模であり、また視覚障害者の手帳保持者の10%と入会率も低く事業の公平性に欠けているため、会に対して新規入会者の促進を進めていく。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)
(2) 改革改善案について	コスツ水準
①新規入会者の加入促進	削減
②	維持
③	増加
	※ 廃止・休止の場合は記入不要
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果
①広報や社協などへ入会の案内を掲載し、広報に努めるよう指導する。	成果優先度評価結果
②	⑩
③	コスト削減優先度評価結果
	⑥